

フェンスウォール® シリーズ **土砂流出防止工法**

敷地から土や砂を流出させない

街の排水機能を守る
土圧性能判定書完備

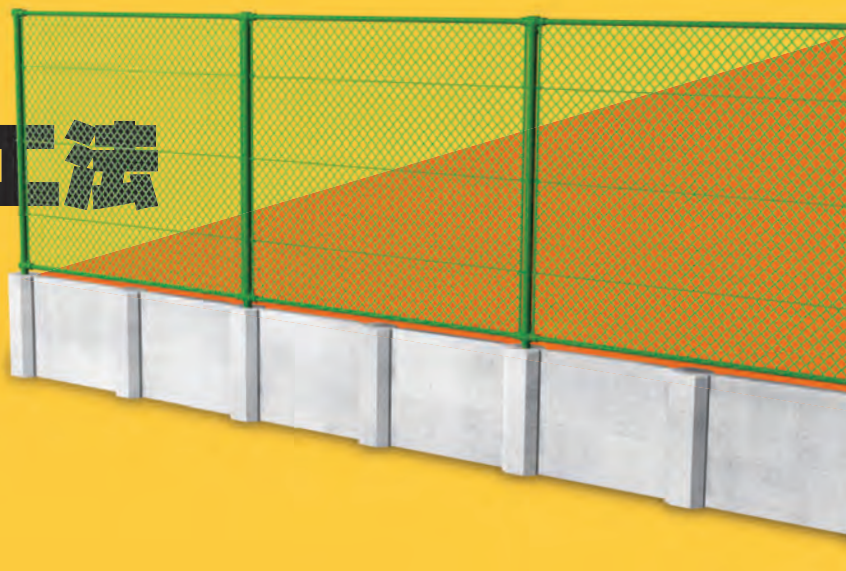


フェンスウォールシリーズによる

土砂流出防止工法

「土の流出を防止して街の排水機能を守る」

土圧性能判定書を完備
簡単施工で低コスト



敷地から土や砂を 流出させない

集中豪雨による水害。都市型水害の一因として降雨時、敷地や田畑、公園などから土や砂が側溝に流入し詰まり、行き場を失った雨水が街にあふれて浸水被害を起こすというケースもあるそうです。多くの自治体は側溝への土砂流入に対する注意喚起をしています。

畑などから側溝への 土砂流入問題

雨水の排水機能の低下につながる「側溝への土砂流入」側溝へ流入した土砂をそのまま放置した場合、集中豪雨の時に敷地から土砂等が道路上に流出し歩行者や車の通行に障害となることがあります。



土圧性能判定書 耐震計算書完備

社内性能試験を経て専門家による構造計算を依頼、役所にも提出して頂ける土圧性能判定書を完備。さらに大きな地震が頻発している昨今、耐震計算書が必要な現場もあります。このフェンスウォールは専門家に依頼し作成した耐震計算書も完備しています。



Fencewall

フェンスウォール®

共通施工手順解説

注意事項があります。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。



柱を建てる為の穴を掘る



柱を建て、柱と柱の間隔を正確に測る



コンクリートを流し込み柱を根固めます



必要な柱をすべて設置する



設置した柱と柱の間に土圧板を差込み、板目地を打つ



重機を使用する事によってより楽に施工が出来ます



柱と土圧板の継ぎ目（縦目地）を埋めていきます



フェンスウォールの施工完了

フェンスウォールシリーズによる

土砂流出防止施工例

最新の施工例は
こちらのQRコードから →
ウェブサイトをご覧ください



【フラット】3番 千葉県工場外周



【フラット】傾斜地へ施工



【フラット】2番 東京都内集合住宅



【フラット】1番 埼玉県 公園から土の流出を防ぐフェンスウォール フラット



【ワイド】2番 東京都内高架下現場

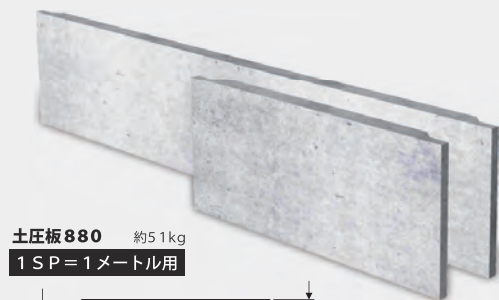


【フラット】3番 埼玉県

Fencewall Flat 製品図面

フェンスウォール® フラット

土圧板 長さ2種類



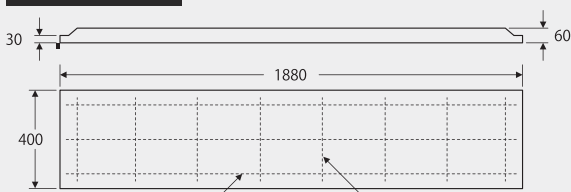
土圧板 880 約51kg
1SP=1メートル用



a鉄筋 径3.2mm 3本 b鉄筋 径3.2mm 4本

※ Φ8 9mm水抜き穴付き
耐圧板もあります

土圧板 1880 約103kg
1SP=2メートル用



a鉄筋 径3.2mm 3本 b鉄筋 径3.2mm 8本

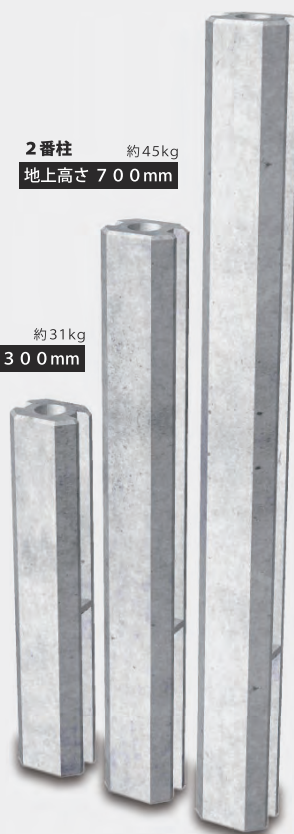
※ この他に土圧の掛からない場所用に厚さ30mmの柵板があります

柱 地上高さ3種類 及び 形状5種類

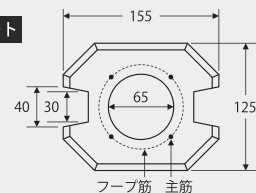
3番柱 約59kg
地上高さ 1100mm

2番柱 約45kg
地上高さ 700mm

1番柱 約31kg
地上高さ 300mm

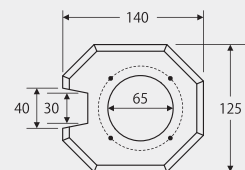


ストレート

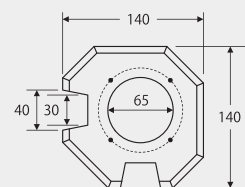


フープ筋 主筋

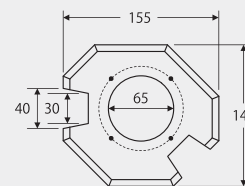
エンド



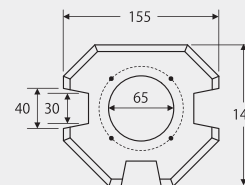
90°



135°



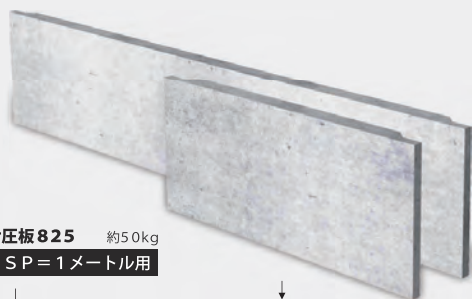
T字



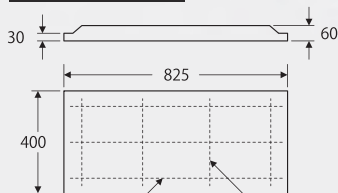
Fencewall WIDE 製品図面

フェンスウォール® ワイド

耐圧板 長さ2種類



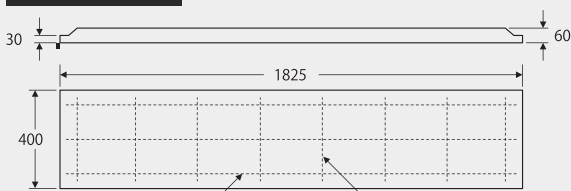
耐圧板 825 約50kg
1SP=1メートル用



a鉄筋 径3.2mm 3本 b鉄筋 径3.2mm 4本

※ Φ8 9mm水抜き穴付き
耐圧板もあります

耐圧板 1825 約100kg
1SP=2メートル用



a鉄筋 径3.2mm 3本 b鉄筋 径3.2mm 8本

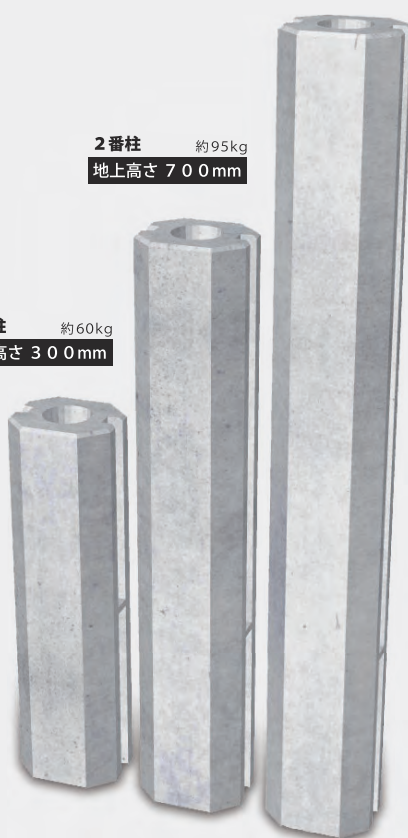
※ この他に土圧の掛からない場所用に厚さ30mmの柵板があります

柱 地上高さ3種類 及び 形状5種類

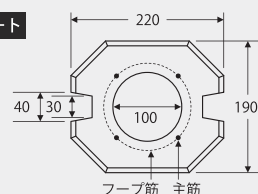
3番柱 約131kg
地上高さ 1100mm

2番柱 約95kg
地上高さ 700mm

1番柱 約60kg
地上高さ 300mm

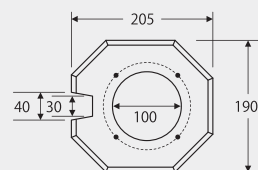


ストレート

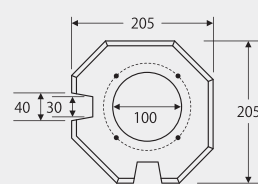


フープ筋 主筋

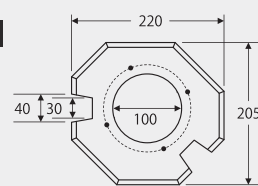
エンド



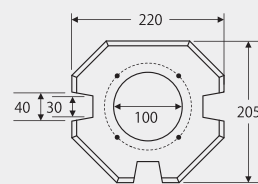
90°



135°



T字





アルミフェンス も設置可能

フェンスウォールシリーズの柱上部にはフェンス設置用の穴があり、土留めとフェンス工事が同時に行えます。



柱を建てる 板を差し込む

フェンスウォール共通の施工方法は、「柱」を建てて、「板」を差し込むという分かり易いシンプルな設計。



公共工事実績 多数の信頼性

数多くの自治体や企業に新設や建替え工事用途で採用して頂きました。もちろん民間工事にも使えます。

フェンスウォールシリーズによる

土砂流出防止施工例

最新の施工例は
こちらのQRコードから →
ウェブサイトをご覧ください



【ワイド】1番 1スパンを1mで施工



【フラット】2番 1スパンを1mで施工



【フラット】1番 1スパンを2mで施工



【フラット】2番で地上高さ70cm



【フラット】1番 1スパンを2mで施工



【フラット】2番 1スパンを2mで施工

組立図寸法表

フラット・ワイド共通

柱の種類	地上高さ	柱の地中埋込	柱の全長	柵板枚数
1番柱	300mm	500mm	800mm	1枚(1段)
2番柱	700mm	500mm	1200mm	2枚(2段)
3番柱	1100mm	500mm	1600mm	3枚(3段)

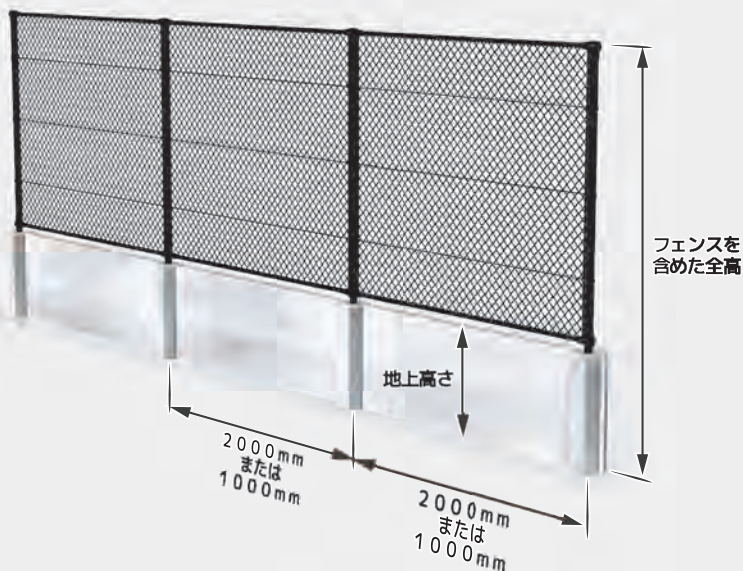
- ※ 柵板と柵板の目地は5mmとする。
- ※ 土留め施工の場合は必ず「土圧板・耐圧板」を使用して下さい。
- ※ 1スパンが2m・1mではない場合は柵板を切り詰めてご使用下さい。
- ※ 切り詰める場合の寸法は「フラット」と「ワイド」で異なります。

取扱説明書をよくご覧下さい。

フェンスを含めた最大高さ

種類	フェンスを含めた最大高さ
フラット	～2000mmまで
ワイド	～2500mmまで

- ※ 根固めコンクリート寸法を順守する事。

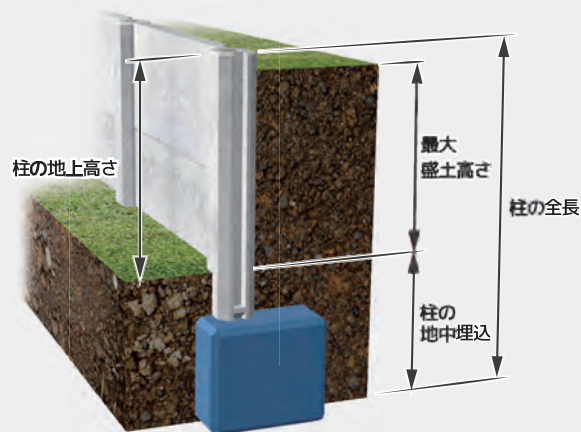


土留め施工の盛土高さ

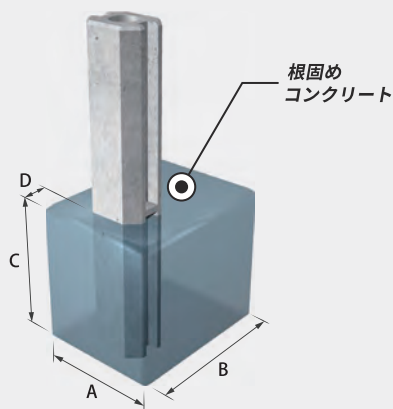
フラット・ワイド共通

柱の種類	柱の全長	柱の地上高さ	最大盛土高さ	柱の地中埋込
1番柱	800mm	300mm	300mm	500mm
2番柱	1200mm	700mm	600mm	500mm
3番柱	1600mm	1100mm	1000mm	500mm

- ※ 施工後、盛土側に過度な加重（重機転圧・車両走行）を加えないで下さい。
- ※ 土留め施工の場合は必ず「土圧板・耐圧板」を使用して下さい。
- ※ より強固な土留め施工をする場合は1スパンを1メートルにして下さい。
- ※ あくまで目安となります。



根固めコンクリート寸法



種類	全高	A	B	C	D
フラット	～2000mm	310mm～	400mm～	350mm	50mm
ワイド	～2500mm				

- ※ 全高とは上部に設置するフェンスを含めた高さです。
- ※ 3番柱での土留め施工の場合は寸法が変わります、詳しくはお問い合わせ下さい。

仕様書

土圧性能判定書

土圧に対する性能判定を行い書類としてまとめました。全5種類のバリエーションにおいて検証しています。



耐震計算書

専門家へ依頼して耐震計算を作成しています。耐震化工事等で地震に強い事が証明出来ますので安心してご使用下さい。



取扱説明書（フラット）

輸送・保管時の注意事項や施工方法、1mスパン・2mスパン標準施工図・根固めコンクリート寸法などをまとめました。



取扱説明書（ワイド）

輸送・保管時の注意事項や施工方法、1mスパン・2mスパン標準施工図・根固めコンクリート寸法などをまとめました。

